

わたしの 妊娠報告書

記載日 平成31年 2月 日

おめでた宣言日	平成 31 年 2 月
年齢 (35) 歳	平成 (27) 年 (6) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (6) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	(5) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	(7) 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精	(3) 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	(1) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	() 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

とにかく体を冷やさないように腹巻きをしたり、冬はレッグウォーマーをつけたりしていました。食事無理のない範囲でバランス良く、体を冷やさず食材をとりすぎないように気をつけていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

もともと注射が苦手だったので、採血や採卵前にした自己注射が恐かったです。でも採血は看護師さんがいつも丁寧に、かつスムーズにして下さったので安心して受けられました。自己注射はどうしても自分でできなかつたので全て夫にしてもらい、なんとか乗り越えられました。

その他（通院・治療費・家族など）

タイミング法、人工授精、そして体外受精へとステップアップする中で、恐らく世の中の大半のご夫婦はしないような、とても重い話し合いを夫婦でする必要がありました。「体外受精をしてまで、本当に子どもが欲しいか」という内容は特に、妊娠に対する男女間の気持ちの差もあり、お互いが納得するには時間がかかりました。妊娠も出産も子育ても、どちらか1人だけでやることではないので、2人でよく話し合い、決論を出すことができよかったです。

治療中の方へのアドバイス

私の場合、「子どもができるかできないか」にとらわれ過ぎて自分自身の人生を大切にできていなかった時期がありました。子どもができない自分が「かおいそうな人」のように思っていました。でも、そうではなくて不妊治療を理解してサポートしてくれる夫がいること、話を聞いてくれる友達がいることがどんなに恵まれているかに気づけた時、とても前向きになれました。「無いもの」にとらわれるのではなく、今ある幸せを大切に、前向きな気持ちで治療に取り組んでいって下さい。

スタッフへのご意見など

中山先生はじめ、看護師さん受付のみなさんにいつも丁寧な対応をして頂き、感謝しています。いつも夜遅くまで診察を受け入れてもらい、「先生はいつ休んでるのか」と心配になる程です。あまりお会いすることはありませんでしたが、培養士の方々のおかげもあり、体外受精で妊娠することができました。本当にありがとうございました。